

「和解の務め」音信（17 - 4 号）

Ministry of Reconciliation in South Africa

これらのことはすべて、神から出ているのです。
神はキリストによって私たちをご自分と和解させ、
また和解の務めを私たちに与えてくださいました

(Ⅱ コリント 5:18)



先ず、父なる神と主イエス・キリスト、そして聖霊からの平安と恵みが皆様に豊かに臨まれますようお祈りいたします。日本は台風が振ってきたり、暑い日々が続いたりするのでしょうか、こちらは今、冬と春が交差する時を迎えております。

婦人の日 (Women's Day)

南アフリカでは 8 月 9 日が婦人の日です。抑圧されて来た女性たちこそ家庭と社会、国の形成のためになくてはならない大切な存在だということでマンデラ氏が大統領になってから 1994 年に制定された祝日です。母の日とは別に記念されている日です。実はこの日は 1956 年、まだアパルトヘイト時代、黒人女性差別を反対してプレトリアの行政政府、ユニオン・ビルの前で 20,000 人ぐらいの黒人女性たちが集まり、反対デモをしたことを記念して制定されました。この日になると色々な記念式が開かれたり、講演会が行われたりしますが、今年はこの頃流行っている女性への性暴力、殺害に反対する集会が多くありました。その中で小生も家内に気に入らせて貰うために(?) 近所のイチゴ畑に一緒に行ってみました。

ライフスタイル・クリスチャン・アカデミでの奉仕

月 1 回ですが、ブスターにあるライフスタイル・クリスチャン・アカデミに行って奉仕しました。朝 5 時ごろ起きて準備し出発するとまだ暗い道程です。1 時間半ぐらい車で走ってブスターに着きますといよいよ朝日が昇ります。朝 7 : 30 から始まる学生たちの集いで聖書の話をして祈りの時を持ちます。その後、グレード 7 のクラスでオリエンタル歴史と簡単な日本語・韓国語を教えます。教えてもないのに学生たちは、「今日は」とか「アンニョンハセヨ」とかを知っていました。日本のアニメーション、韓国の映画などが普及されている所為かも知れません。学生たちのなかで何人かは日本に行ってみたく切に願っております。その道が開かれるようお祈りしております。

和解の宣教集会 (Reconciliation Mission Gathering) の準備

前からお祈りして頂いた「和解の宣教集会」がいよいよ 9 月 25 日 (月) にスタートすることになりました。集会と言って 1 回で終わる集まりではなく、一つの会衆を意味します。一つの教会のなかで英語を使うもう一つの国際的な会衆ができるということです。先日、奉仕させて頂いた足立愛の教会で日本語部と韓国語部が併存していたことと似ています。(ご存知のように、ギリシャ語のエクレシア (ekklesia) は教会にも、会衆にも、そして集会にも、集いにも訳ができることばだと知っております)。こちらの教会の長老会に出席し、説明して、承認して頂きました。ステレンボシュ改革派教会の 50 年の歴史において一つの画期的な、そして望ましい発展の転機となることをお願いするばかりです。幸いに今度の開設礼拝に朝岡勝先生が説教し、礼拝後の講演会でも講演して下さることになっております。その時まで良い準備ができ、神様に栄光をお捧げすることができるようにお祈りしてください。

祈りの課題

お祈りして頂きたい幾つかの課題を申し上げます。

1. 「和解の宣教集会」開設礼拝とその準備のために、説教と講演をしてくださる朝岡勝先生のご健康と霊性とが豊かに祝福されるように。
2. ステレンボシュ大学やその周辺に住んでいる多くの学生、青年たちが主に導かれ、訓練され、宣教に動員できるように。
3. 南アフリカの教会と信徒がアフリカと世界の福音化に用いられるように。

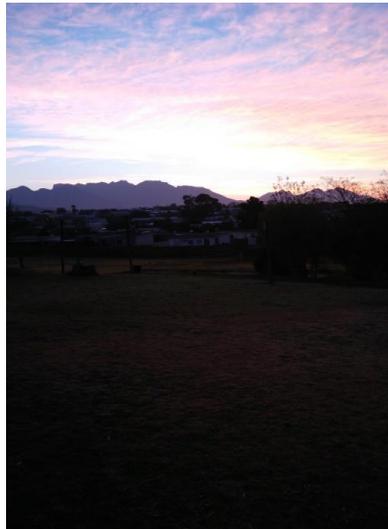
最後に、いつも覚えてお祈りと尊いご支援をしてくださる皆様に心よりお礼を申し上げ、三位一体の神様からのご健康と平安をお祈りいたします。シャローム！

南アフリカ・ステレンボシュにて

金煥・貞玉より

(写真)

1. 婦人の日に子供たちと遊んでいるカラドの婦人
2. ブスターの朝日
3. 聖書の話し



4. 国際部が始まる改革派教会会堂